

大口町社長さん Vol. 14 リレーインタビュー

大口町で活躍する社長さんをリレー形式でご紹介いただき、住民有志のおおぐち宣伝部が、大口町にある企業の素晴らしさと、社長さんの人柄をご紹介します企画です。



報恩感謝を旨とし、熱と努力と誠意を実践する

福玉精穀倉庫株式会社

代表取締役社長 社本光永さん

Profile

昭和 34 年生まれ

趣味 ゴルフ 相撲見物 子どものころに祖母と名古屋場所を見に行ったことを機に好きになりました。現在期待している力士は朝乃山ですが、相撲そのものが大好きです。

創業 明治 7 年 設立 昭和 23 年

所在地 大口町御供所一丁目 65 番地

従業員数 715 名 (社員 165 名 準社員 26 名
パート 346 名 協力社員 178 名)

どんな仕事をしている会社ですか？

明治7年に、五条川で水車を使い、精麦、精米、など食品加工業を開業し、現在では、麦茶の製造を中心に行っています。

昭和26年には倉庫業に進出し、現在、小牧インター周辺の市町に16万坪の延べ床面積を持ち、大手販売店、メーカー含め、さまざまなお客様の製品をお預かりし、仕分けなどの作業をとおして、消費者の方までお届けしています。



大切にしていること

社員のみなさんの健康と幸せ、地域の安全と安心を願っています。この恵まれた土地で、わが社が仕事をさせていただいている、生活をさせていただいていることに感謝しています。わが家では、代々、神仏を大事にするという思いがあります。ご先祖様から受け継いだこの地域の、発展と安全を願い、感謝を忘れないという心を大事にしています。

五条川と共に歩む

「福玉」は大口町のみなさまと共に歩んできました。

五条川のほとりに建てた水車から始まった歴史に感謝をこめて、祖父の社本鋭郎が桜の苗木を植えましたが、育ててくれたのは、大口町の住民の皆様であると聞かされてきました。本当に感謝しております。

私は、大口町に生まれましたが、3才の時に両親と倉庫のある名古屋に移り住み、東京で学生時代を過ごし、現在は小牧市に住んでいます。しかし、毎年春になると、ご縁のある方々を大口町にお招きして、五条川の桜を愛でてお花見をします。

私にとって、大口町は故里であり、大切な場所です。五条川、美しい桜、そして裁断橋物語をはじめとする歴史があります。また、その歴史を繋がりとした姉妹都市松江市とのご縁が生まれました。小学生の交流、中学生の修学旅行などを通して、ぜひ末永く大切に、大口町の素晴らしさを伝え続けて欲しいと願っています。

会社のスター☆

大口センター所長 水野孝昭さん (大口町在住) 43才

責任感を持って一生懸命に仕事をすすめる社員です。物流センターの運営を安心して任せられることができる所長になってくれると期待しています。

独身につき、お嫁さん大募集中！



取材後記



社長の大口町と松江によせる愛情に、心を打たれました。